

大人だけでは 決めない！ 部活動の地域移行



まずは

子どもたちにとっての理想のスポーツ・文化環境を考えるアンケート
から始めてみませんか？

2023年度から公立中学校の休日の運動部活動の段階的な地域移行が始まります。全国の自治体や学校現場は「地域移行」に向けて、様々な環境を整備し、子どもたち一人一人に応じた多様なスポーツ環境・教育環境を実現していかなければなりません。そのためには、当事者である子どもたちが一緒に参加し、部活動の未来を創っていくことが大切です。

2023年4月1日より子ども基本法（※）が施行される今だからこそ、子供たちの視線にたった部活動改革をもう一度考えてみてはいかがでしょうか。イマチャレは全国の自治体に「子どもたちにとっての理想のスポーツ・文化環境を考えるアンケート」を無料で提供しています。ぜひご活用ください！

※ こども基本法は子どもの権利条約の4つの一般原則を基本理念に掲げています。

- 4つの原則
- 生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること）
 - 子どもの最善の利益（子どもにとって最もよいこと）
 - 子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）
 - 差別の禁止（差別のないこと）

詳細は裏面へ

実施の目的

- 子どもたちが、現在の学校生活やこれからの人生をより充実させるために、理想のスポーツ・文化環境とは、どんなものなのか？ 明らかにする。
- 部活動に入っている生徒だけでなく、入っていない生徒の意見も尊重する。

部活動の地域移行においては、現在の部活動をそのまま地域へ移行するのではなく、この機会に当事者である子どもたちの声を聞いたうえで、各地域での理想的なスポーツ・文化環境を実現していくことが重要だと、イマチャレでは考えています。

また、全国の中学生の学校運動部活動への加入率（2019年）は61.8%であり、4割近くが加入していない現実があります。高校では更に加入率が低く、生涯スポーツに繋げていくためには、彼ら彼女らはどんなスポーツ活動であれば「入りたい」と思うのかを、少数派の意見も含めて丁寧に拾っていくことが、今後の部活動改革のヒントになると思っています。

理想的なスポーツ環境を実現するポイント

主体的な選択ができる環境、多様な経験ができる環境、心身のゆとりはあるのか、活動時間の効率化、勝利以外のどんな価値を求めているか

具体的なアンケート項目例

Q.今の部活動をもっとよくするためには、どんなことが考えられますか？ ※複数回答可

- 部長などの役割を自分たちで決める
- 練習メニューを自分たちで作る
- よりレベルの高い指導者から学べる
- もっとわかりやすい（専門的な）指導を受けられる
- 顧問の先生（指導者）が怒鳴らず対等に会話してくれる
- 顧問の先生（指導者）が一人ひとりの健康状態を考えてくれる
- 練習を効率化する
- 先輩後輩の厳しい上下関係がない
- 男女の枠組みをなくす
- 学校以外の子供たちと一緒に練習ができる
- 他の活動のために休んでも、先生や友達から批判されない
- 他の種目を選択できる
- 部活動以外の時間（勉強や家族との時間）も確保できる

スケジュール

2023年

- 3月：参加自治体の申込受付開始
- 5～6月頃：アンケートの実施
- 7月頃：各自自治体へ集計結果の発表

お申し込み方法

こちらの申し込みフォーム、
または
ima.challe@eduship.co.jp
までご連絡ください。



アンケート回答特典

- 他地域のアンケート結果も含め、イマチャレ製作委員会で分析し、7月頃に結果を共有させていただきます。
- アンケート結果を元に、各教育委員会での研修やワークショップの実施、またはイマチャレのチャレンジシティとして、コンサルティングを行うことも可能です。

※①は無料、②に関しては費用をご相談させていただきます。本アンケートにおける個人情報の取り扱いに関しましては、各教育委員会の皆様とご相談した上で進めさせていただきます。

アンケートに記載いただいた個人情報は、本調査の実施目的以外で使用することはありません。アンケート結果につきましては、個人が特定できない形でイマチャレ本誌等の刊行物やHP等で公表することがあります。そのほか、アンケートや個人情報の取り扱いに関するお問い合わせについては下記問い合わせ先までご連絡ください。

<問い合わせ先>

イマチャレ製作委員会事務局 | 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-9-4 エクセレント大宮ビル3F MAIL:ima.challe@eduship.co.jp